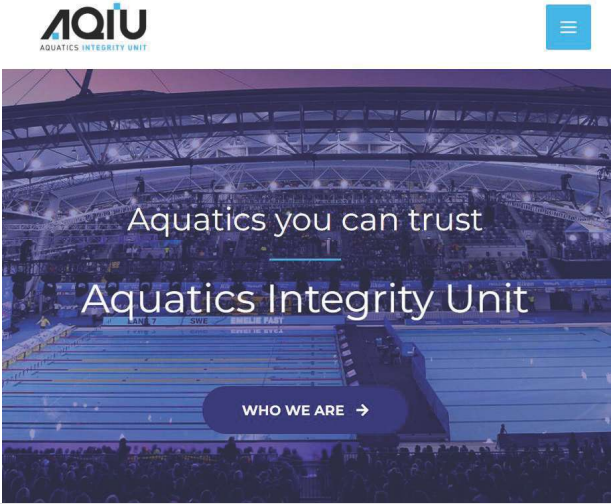


2025アンチ・ドーピング 最近の動向

日本水泳連盟
アンチ・ドーピング委員会

2025年度地域会議資料



<2025年度ドーピング検査計画>

2024.12.18
アンチ・ドーピングカンファレンス
J-FAIRNESS資料

年度	競技会検査				競技会外検査							
	国内大会		国際大会*1		RTP/TP等*2		該当リーグ*3		国際大会派遣前		国際大会前*4	
	尿	血液	尿	血液	尿	血液	尿	血液	尿	血液	尿	血液
2024年度	2,200	100	640	60	2,225	1,110	950	20	700	0	70	150
2025年度	1,799	88	1,352	14	2,225	1,240	950	20	200	0	0	740
差分	-401	-12	+712	-46	0	+130	0	0	-500	0	-70	+590

競技会外の血液検査↑



PARIS 2024 OLYMPIC GAMES ANTI-DOPING PROGRAM

期間中の検査
選手の40%



Urine Samples
4,798



Blood Samples
1,136



6,130
SAMPLES COLLECTED

4,154
athletes tested



38.75%
of participating athletes

from
200
countries



athletes from
97%
of all participating countries tested

TOP TESTED COUNTRIES

- USA
- FRA
- CHN
- AUS
- GBR
- ESP
- ITA
- JPN**
- BRA
- NED
- GER
- CAN
- NZL
- EGY
- POL

TOP TESTED SPORTS

- ATHLETICS
- AQUATICS 2位**
- CYCLING
- ROWING
- WRESTLING
- CANOE
- BOXING
- WEIGHTLIFTING
- JUDO
- GYMNASTICS

水泳 (ボリビア) 1
柔道 (イラク) 2
陸上 (コンゴ) 1
ボクシング (ナイジェリア) 1

違反

5

Anti-Doping Rule Violations



アハメド・ハフナウイ
(チュニジア)



Subscribe to SwimSwam Magazine

NEWS SWIM DATA COLLEGE TRAINING VIDEO LIFESTYLE MORE

Search SwimSwam

OLYMPIC CHAMPION SWIMMER AHMED HAFNAOUI PROVISIONALLY SUSPENDED FOR DOPING RULES VIOLATION

Comments: 69



2023福岡
男子800 & 1500Fr
金メダル

居場所情報関連義務違反

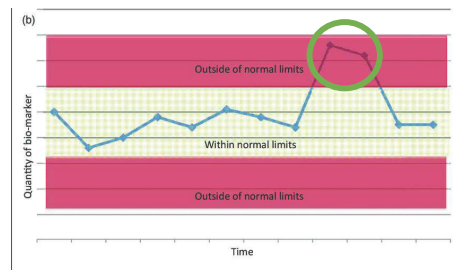
**1~2年間
資格停止**

(手続き中)



競歩の池田向希 ドーピング違反疑惑で暫定的な資格停止処分 東京五輪、オレゴン世界陸上で銀

#池田向希 #ドーピング



2023年6月から8月にかけての
血液検査値の変動から
血液ドーピングの疑い

暫定的資格停止
不服申し立て中

≡+ ENHANCED

ドーピング容認大会

2026年@ラスベガス

THE FUTURE OF SPORTS IS HERE

We are on a mission to redefine superhumanity through science, innovation and sports.

Get Enhanced

≡+ ENHANCED GAMES
Las Vegas 2026

AN ENHANCED DOCUMENTARY
50 METERS TO HISTORY
THE FIRST SUPERHUMAN

クリーンアスリート宣言

ダメ、絶対!

ドーピング禁止物質

No!

アンチ・ドーピング



公認競技者 日本水泳連盟 アンチドーピング委員会 経理委員会 医事委員会 アスリート委員会

2025年の吉報

WORLD AQUATICS

Men Breaststroke World Junior Records

世界ジュニア新記録!

Men Medley World Junior Records

MEN 100M BREASTSTROKE



JPN
Shin OHASHI
58.94

79th All Kinki High School Swimming Championships
JPN • 23 Jul 2025

MEN 200M BREASTSTROKE



JPN
Shin OHASHI
02:06.91

79th All Kinki High School Swimming Championships
JPN • 21 Jul 2025

ともに
地方会場

近畿高校選手権
@インフロニア草津

MEN 400M MEDLEY



JPN
Yumeki KOJIMA
04:09.38

Tokai Inter-High School Athletic Meet
JPN • 19 Jul 2025

東海高校総体
@鈴鹿水泳場

世界記録・世界ジュニア記録の公認手続き

記録認定のため **ドーピング検査**が必要
競技成立後（レース後） **24時間以内**

JADAと検査をコーディネート

- ・ 検査員を募る
- ・ 都内で検査物品を用意して会場に向かう

⇒ 地方だと **24時間以内**に間に合わない！！

事前準備のための
情報提供のお願い

新記録を出す
可能性がある
選手の出場予定

※突発的な新記録発生には
随時対応します

＝ 一目で欲しい資料が分かる！

アンチ・ドーピングに役立つ資料

日本最高レベルの競技会
(日本選手権、国民スポーツ大会など)
に出場するレベルですか？

はい

いいえ

大会手続きに役立つ資料や
ドーピングにならない薬の情報を
お伝えします！

競技者TUEガイド



治療使用特例(TUE)の
申請は競技者レベルに
よって異なります

担当医師へのお願い



医療機関受診時に
この資料を持参し、
医師に提示しましょう

いつでも使える薬の例



禁止物質を含まない
市販薬の例が
掲載されています

日常生活においても
アンチ・ドーピングを意識しましょう

日常生活で薬について
困ったことはありますか？

はい

いいえ

役立つ薬の情報をお伝えします！

薬以外の注意喚起をお伝えします！

いつでも使える薬の例



禁止物質を含まない
市販薬の例が
掲載されています

花粉症・鼻炎の薬



禁止物質を含まず
眠気の副作用が少ない
薬を紹介しています

サプリ・栄養ドリンク



禁止物質が含まれて
いることがあるため
要注意です

ぜんそくの薬の注意点



一部の喘息の薬は
禁止されているため
注意が必要です

女性アスリート



月経痛に対する
お薬について
紹介されています

競技レベルに関係なく
すべての資料を
ご覧いただけます



まずはお気軽にご相談ください

日本水泳連盟 【アンチ・ドーピング】 【薬の相談窓口】



「スポーツ界における暴力行為根絶宣言」について

平成 25 年 4 月 25 日に、日本スポーツ協会、日本オリンピック委員会、日本障害者スポーツ協会、全国高等学校体育連盟および日本中学校体育連盟の 5 団体が開催した「スポーツ界における暴力行為根絶に向けた集い」において採択した「暴力行為根絶宣言」の全文は以下のとおりです。

スポーツ界における暴力行為根絶宣言

【はじめに】

本宣言は、スポーツ界における暴力行為が大きな社会問題となっている今日、スポーツの意義や価値を再確認するとともに、我が国におけるスポーツ界から暴力行為を根絶するという強固な意志を表明するものである。

スポーツは私たち人類が生み出した貴重な文化である。それは自発的な運動の楽しみを基調とし、障がいの有無や年齢、男女の違いを超えて、人々が運動の喜びを分かち合い、感動を共有し、絆(きずな)を深めることを可能にする。さらに、次代を担う青少年の生きる力を育むとともに、他者への思いやりや協同精神、公正さや規律を尊ぶ人格を形成する。

殴る、蹴る、突き飛ばすなどの身体的制裁、言葉や態度による人格の否定、脅迫、威圧、いじめや嫌がらせ、さらに、セクシュアルハラスメントなど、これらの暴力行為は、スポーツの価値を否定し、私たちのスポーツそのものを危機にさらす。フェアプレーの精神やヒューマニティーの尊重を根幹とするスポーツの価値とそれらを否定する暴力とは、互いに相いれないものである。暴力行為はたとえどのような理由であれ、それ自体許されないものであり、スポーツのあらゆる場から根絶されなければならない。

しかしながら、極めて残念なことではあるが、我が国のスポーツ界においては、暴力行為が根絶されているとは言い難い現実がある。女子柔道界における指導者による選手への暴力行為が顕在化し、また、学校における運動部活動の場でも、指導者によって暴力行為を受けた高校生が自ら命を絶つという痛ましい事件が起こった。勝利を追求し過ぎる余り、暴力行為を厳しい指導として正当化するような誤った考えは、自発的かつ主体的な営みであるスポーツとその価値に相反するものである。

今こそ、スポーツ界は、スポーツの本質的な意義や価値に立ち返り、スポーツの品位とスポーツ界への信頼を回復するため、ここに、あらゆる暴力行為の根絶に向けた決意を表明する。

【宣言】

現代社会において、スポーツは「する」、「みる」、「支える」などの観点から、多くの人々に親しまれている。さらに 21 世紀のスポーツは、一層重要な使命を担っている。それは、人と人との絆(きずな)を培うスポーツが、人種や思想、信条などの異なる人々が暮らす地域において、公正で豊かな生活の創造に貢献することである。また、身体活動の経験を通して共感の能力を育み、環境や他者への理解を深める機会を提供するスポーツは、環境と共生の時代を生きる現代社会において、私たちのライフスタイルの創造に大きく貢献することができる。さらに、フェアプレーの精神やヒューマニティーの尊重を根幹とするスポーツは、何よりも平和と友好に満ちた世界を築くことに強い力を発揮することができる。

しかしながら、我が国のスポーツ界においては、スポーツの価値を著しく冒涇(ぼうとく)し、スポーツの使命を破壊する暴力行為が顕在化している現実がある。暴力行為がスポーツを行う者の人権を侵害し、スポーツ愛好者を減少させ、さらにはスポーツの透明性、公正さや公平をむしろむしむことは自明である。スポーツにおける暴力行為は、人間の尊厳を否定し、指導者とスポーツを行う者、スポーツを行う者相互の信頼関係を根こそぎ崩壊させ、スポーツそのものの存立を否定する、誠に恥ずべき行為である。

私たちの愛するスポーツを守り、これからのスポーツのあるべき姿を構築していくためには、スポーツ界における暴力行為を根絶しなければならない。指導者、スポーツを行う者、スポーツ団体及び組織は、スポーツの価値を守り、21 世紀のスポーツの使命を果たすために、暴力行為根絶に対する大きな責務を負っている。このことに鑑み、スポーツ界における暴力行為根絶を以下のように宣言する。

一．指導者

- 指導者は、スポーツが人間にとって貴重な文化であることを認識するとともに、暴力行為がスポーツの価値と相反し、人権の侵害であり、全ての人々の基本的権利であるスポーツを行う機会自体を奪うことを自覚する。
- 指導者は、暴力行為による強制と服従では、優れた競技者や強いチームの育成が図れないことを認識し、暴力行為が指導における必要悪という誤った考えを捨て去る。
- 指導者は、スポーツを行う者のニーズや資質を考慮し、スポーツを行う者自らが考え、判断することのできる能力の育成に努力し、信頼関係の下、常にスポーツを行う者とのコミュニケーションを図ることに努める。
- 指導者は、スポーツを行う者の競技力向上のみならず、全人的な発育・発達を支え、21 世紀におけるスポーツの使命を担う、フェアプレーの精神を備えたスポーツパーソンの育成に努める。

二. スポーツを行う者

- スポーツを行う者、とりわけアスリートは、スポーツの価値を自覚し、それを尊重し、表現することによって、人々に喜びや夢、感動を届ける自立的な存在であり、自らがスポーツという世界共通の人類の文化を体現する者であることを自覚する。
- スポーツを行う者は、いかなる暴力行為も行わず、また黙認せず、自己の尊厳を相手の尊重に委ねるフェアプレーの精神でスポーツ活動の場から暴力行為の根絶に努める。

三. スポーツ団体及び組織

- スポーツ団体及び組織は、スポーツの文化的価値や使命を認識し、スポーツを行う者の権利・利益の保護、さらには、心身の健全育成及び安全の確保に配慮しつつ、スポーツの推進に主体的に取り組む責務がある。そのため、スポーツにおける暴力行為が、スポーツを行う者の権利・利益の侵害であることを自覚する。
- スポーツ団体及び組織は、運営の透明性を確保し、ガバナンス強化に取り組むことによって暴力行為の根絶に努める。そのため、スポーツ団体や組織における暴力行為の実態把握や原因分析を行い、組織運営の在り方や暴力行為を根絶するためのガイドライン及び教育プログラム等の策定、相談窓口の設置などの体制を整備する。

スポーツは、青少年の教育、人々の心身の健康の保持増進や生きがいの創出、さらには地域の交流の促進など、人々が健康で文化的な生活を営む上で不可欠のものとなっている。また、オリンピック・パラリンピックに代表される世界的な競技大会の隆盛は、スポーツを通じた国際平和や人々の交流の可能性を示している。さらに、オリンピック憲章では、スポーツを行うことは人権の一つであり、フェアプレーの精神に基づく相互理解を通して、いかなる暴力も認めないことが宣言されている。

しかしながら、我が国では、これまでスポーツ活動の場において、暴力行為が存在していた。時と場合によっては、暴力行為が暗黙裏に容認される傾向が存在していたことも否定できない。これまでのスポーツ指導で、ともすれば厳しい指導の下暴力行為が行われていたという事実を真摯に受け止め、指導者はスポーツを行う者の主体的な活動を後押しする重要性を認識し、提示したトレーニング方法が、どのような目的を持ち、どのような効果をもたらすのかについて十分に説明し、スポーツを行う者が自主的にスポーツに取り組めるよう努めなければならない。

したがって、本宣言を通して、我が国の指導者、スポーツを行う者、スポーツ団体及び組織が一体となって、改めて、暴力行為根絶に向けて取り組む必要がある。

スポーツの未来を担うのは、現代を生きる私たちである。こうした自覚の下にスポーツに携わる者は、スポーツの持つ価値を著しく侵害する暴力行為を根絶し、世界共通の人類の文化であるスポーツの伝道者となることが求められる。

【おわりに】

これまで、我が国のスポーツ界において、暴力行為を根絶しようとする取組が行われなかったわけではない。しかし、それらの取組が十分であったとは言い難い。本宣言は、これまでの強い反省に立ち、我が国のスポーツ界が抱えてきた暴力行為の事実を直視し、強固な意志を持って、いかなる暴力行為とも決別する決意を示すものである。

本宣言は、これまで、あらゆるスポーツ活動の場において、暴力行為からスポーツを行う者を守り、スポーツ界の充実・発展に尽力してきた全てのスポーツ関係者に心より敬意を表するとともに、それらのスポーツ関係者と共に、スポーツを愛し、豊かに育んでいこうとするスポーツへの熱い思いを受け継ぐものである。そして、スポーツを愛する多くの人々とともに、日本体育協会、日本オリンピック委員会、日本障害者スポーツ協会、全国高等学校体育連盟、日本中学校体育連盟は、暴力行為の根絶が、スポーツを愛し、その価値を享受する者が担うべき重要な責務であることを認識し、スポーツ界におけるあらゆる暴力行為の根絶に取り組むことをここに宣言した。

この決意を実現するためには、本宣言をスポーツに関係する諸団体及び組織はもとより、広くスポーツ愛好者に周知するとともに、スポーツ諸団体及び組織は、暴力行為根絶の達成に向けた具体的な計画を早期に策定し、継続的な実行に努めなければならない。

また、今後、国際オリンピック委員会をはじめ世界の関係諸団体及び組織とも連携協力し、グローバルな広がりを展望しつつ、スポーツ界における暴力行為根絶の達成に努めることが求められる。

さらに、こうした努力が継続され、結実されるためには、我が国の政府及び公的諸機関等が、これまでの取組の上に、本宣言の喫緊性、重要性を理解し、スポーツ界における暴力行為根絶に向けて、一層積極的に協力、支援することが望まれる。

最後に、スポーツ活動の場で起きた数々の痛ましい事件を今一度想起するとともに、スポーツ界における暴力行為を許さない強固な意志を示し、あらゆる暴力行為の根絶を通して、スポーツをあまねく人々に共有される文化として発展させていくことをここに誓う。

平成 25 年 4 月 25 日

公益財団法人日本スポーツ協会
公益財団法人日本オリンピック委員会
公益財団法人日本障害者スポーツ協会
公益財団法人全国高等学校体育連盟
公益財団法人日本中学校体育連盟